

おかざき ゆういち
岡崎 裕一 議員



住民の皆さんとの議論の場は、お互いの信頼関係を築くためにも重要です。

質問：住民と議論の場を

検討課題について住民ともっと議論の場を！

町長

要請をいただければ、意見交換会を行います。

問 20年前の4町合併の際、合併協定書には「新町の事務所は久賀町に置くのがふさわしいが、当分の間、現大島町役場に置く」という文がありました。

その後これまで議論されていない現状に、私を含め旧久賀地区の住民は、納得していません。まだまだ議論が必要だと感じています。今後、町として積極的に議論の場を設ける考えはありますか。

その他の質問：新たな特産品の創出を

答 本町では、「ワンテーマディスカッション」を議論の場とし、町長が町民の生の声を聴く機会として捉えています。

引き続き広報等で周知を行い、町全体の課題や各地区における課題など、町民の皆さんの声をしっかりと聴き、今後の町づくりに活かせるよう取組んでまいりたい。

やまなか まさき
山中 正樹 議員



電話リレーサービス利用者への補助を！

質問：難聴者の支援は？

難聴者とのコミュニケーション手法の工夫を！

町長

サービスの理解と周知に努めたい。

問 耳が聞こえにくい方との対話について、社会全体で対応できる環境づくりが重要と考えますが、次の2点について、本町の取組みを伺います。

1. 役場窓口での「軟骨伝導イヤホン」の導入
2. 電話リレーサービスの周知

電話リレーサービスとは…聴覚や発話に困難のある人と、きこえる人との会話を通訳オペレーターが手話・文字と音声を通訳することで、電話で双方向につなぐサービスです。

答 1. 県内で導入している自治体もあるので、利用状況等を参考にしながら、導入について検討したい。
2. 現在、ケアプラザ内にポスターの掲示やリーフレットの設置をしていますが、障がい者に対してだけではなく、電話の受け手となる病院、職場及び施設等に対し、町のホームページや広報等でサービスの理解と周知に努めたい。

たなか とよふみ
田中 豊文 議員



どうしてもそこに販売の場を作ってくれというのではなく、そこが難しいなら代替地へ作ることも可能ではないか。仮にそれがすぐに実現できないのであれば、整備するのかしないのか、それがいつになるのかなど、計画時に約束していた住民に対して早急に説明の場を！

質問：久賀棕野下水処理場周辺整備のその後は？

2年間の検討結果は？

利活用方法の検討を進めていく考えです。

町長

問 久賀棕野下水処理場建設計画時に周辺住民に説明のあった周辺環境整備について、令和4年第1回定例会において質問した際、「下水処理場と一体となった販売の場づくりについて検討する」と答弁がありました。2年経ちますが、その後の検討結果及び今後の取組みについて伺います。

答 現地の状況ですが、下水処理場前は山口県の公衆用道路となっており、現状は、残土の仮置き場として一部借りています。

駐車場や公衆トイレ等については、下水道施設の整備後に周辺をどう一体利用していくのか重要な課題と認識しており、整備完了時期の目途がついたら、利活用方法の検討を進めていく考えです。

その他の質問：町営住宅の老朽化対策訴訟の現状と認識

質問：防災対策

避難所の見直しを

地域防災計画の改定にあわせ行います。

町長

問 平成16年以降、本町は大災害に見舞われていませんが、先の大島大橋の事故で離島であることを思い知らされ、その教訓が生かされているのか、南海トラフ巨大地震を想定した対策がされているのか懸念されます。

3月に質問した、「避難所の見直し」「自主防災組織の進捗状況」「ライフラインの見直し」について伺います。

答 避難所は、地域防災計画の改定にあわせ、見直しを行います。

自主防災組織は、組織の統合があったため、1組織の減となりましたが、継続的に啓発活動を行います。

ライフラインについては、「周防大島町国土強靱化地域計画」を策定し、「住宅・環境」を施策分野とし、施設の長寿命化・耐震化の推進などを定めています。

くぼ まさみ
久保 雅己 議員



備えあれば憂いなし！町民の安全確保のため、具体的に、積極的に対策を考えていただきたい！

おもと たけし
尾元 武 議員



一日も早く大島全土に便利増進を目指すデマンド交通事業が浸透し、喜びの声が聞こえることを希求します。

質問：地域交通 乗合タクシーのデマンド化

乗合タクシーのデマンド化の進捗状況は？

10月から実証実験を開始します。

町長

問 本年度奥畑線乗合タクシーのデマンド化と路線変更に向けた実証実験が行われると聞いています。

地域にとって望ましい取組みとなるよう願うところでありますが、進捗状況を伺います。

実証実験の事業費は、国土交通省補助事業「共創・MaaS実証プロジェクト」により、2/3が国庫補助されます。

その他の質問：実効性のある自主防災組織へ

答 実証実験は10月から1年間の予定で、8月から地元説明会を開催し、乗降位置や運賃等を決定していきたいと考えています。

再編後は、停車ポイントを増やし、朝の1便目は通院を念頭にした基本ダイヤとし、それ以外の時間帯は運行時間内であれば需要に応じ随時運行することで、利便性を向上したい。

しらとり のりこ
白鳥 法子 議員



運営費の増加に見合うより一層の活用を！

その他の質問：移住・二地域居住と地域の関係づくり

質問：B&G海洋センタープールの温水化に伴う利用促進策は？

温水化をどう町政に活かす？

教育長

こどもたちの健全育成と一般利用者の健康づくりを促進します。

問 温水化に伴い利用期間が伸び、活用頻度も上がるというのですが、温水プールの運営には、加温のための燃料、ボイラーの維持管理が新たに必要になります。

温水化したプールをどのように町政運営全体に活かしていこうとお考えなのか、また、どのようにより一層の活用をはかるのか、お考えを伺います。

答 利用期間延長を活かして学校のカリキュラムに幅を持たせ、複数の学校が合同で水泳学習を行うなど指導の充実を図ります。

また、教育委員会主催の水泳教室等に健康づくりに関する内容を加えるなど、地域住民も参加できるよう取組みの改善を図ります。

さらに、現在柳井市のプールを利用している方々に利用していただくことで、これまで以上に交流の機会を増やしていきたい。